

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PCテクニック		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	PCテクニック	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
PC各種アプリケーションの活用方法や社会人としての人間カスキルをオンデマンド授業を通して学ぶ						
到達目標						
授業内でのPC作業や卒業後も応用できるPCテクニック、社会人としての人間力を身につける						
授業計画・内容						
【前期】 1～7回目	コンピュータ内部の理解／時間の使い方／タスク管理方法について／相手の心を掴むプレゼンテーション術／伝わるプレゼンの作り方／Google スライドだからできるワンランク上のプレゼン／Canva AIで手軽に資料作成					
【前期】 8～11回目	プロジェクトマネジャーの基本／Googleスプレッドシートで進捗管理する方法／Googleスプレッドシートでプロジェクト管理／Googleスプレッドシート基礎トレ全自動カレンダー 編-					
【前期】 12～15回目	能動的に人生と仕事を動かす「タスク管理」／うまく回る「情報共有の仕組み」づくり 新入社員向けExcel術一表の見せ方 & 計算チェックー／最速のExcel術					
【後期】 16～24回目	“伝わる文章”の基本／簡潔なメール文への添削／ビジネスメールの書き方／「わかってるな」と思われる報連のしかた／Word による文書作成の基礎・知っておくべき段落書式・スタイル機能の基礎					
【後期】 25～31回目	議事録係の準備について／議事メモを制する者は会議を制す／議事メモから“シゴデキ議事録”へ／自分もチームも変える3つの視点／情報の収集・集計・分析をGoogle フォーム × Google スプレッドシートで自動化／瞬時に共有できるGoogle Keepでビジネスを加速しよう／Google サイで情報をひとまとめにして共有					
【後期】 32～38回目	「可愛がられる」は才能ではなくスキルである／大きな桁の掛け算・割り算のコツ／秒で完成-パワポスライド作成-／なぜ、私たちはPowerPoint資料を作るのか／名刺で学ぶCanvaとデザインの基本／Canvaプレゼンテーション活用術／アイデアを形にする企画整理					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージ音響概論		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ステージ音響概論	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	66回(132単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	PA会社を経て数多くのアーティストのPAサポートを行い、デジタル伝送システムの構築を発信している。コンサート以外では、テーマパーク、エキシビションのサウンドデザインを担当している。					
授業概要						
本館ホールを使用した各種実習およびホールを使用して実機を用いて講義を行う。						
到達目標						
PAエンジニアに必要なトータル的な技術の取得。(本館ホール) 現場で実際に必要になる機材の知識やPCスキルの習得						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	アナログとデジタルの違いを理解する 各Editorの基本操作(回線表を打ち込むYAMAHA PM5/M7/TF)					
【前期】 5～8回目	各Editorの基本操作(DIGICO SD7/Q225) ホールについて/楽器表記回線表作成 実験交えてSmarrt/ラウドネス/dB					
【前期】 9～19回目	電気について 各マイクの特徴/指向性/MS/ファンタム 様々なコネクターの特徴					
【前期】 20～28回目	ミキサーについて(MTRIX/信号の流れ/Insert) イコライザー/コンプレッサー/空間系エフェクター、Delay					
【後期】 29～36回目	電波について ワイヤレスマイク使用法/WWB イヤモニの使用法					
【後期】 37～44回目	ポイントソースとラインアレイ Vecter図面作成 DANTE					
【後期】 45～52回目	劇場の種類/舞台機構 音源再生(REAPER)					
【後期】 53～66回目	様々な現場の音源出し 音源再生(サンプラー)					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージワーク実習		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ステージワーク実習		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	都内ライブハウスでのPAオペレーターを経て、現在はフリーランスとして活躍中。 また、様々なアーティストの専属オペレーターとして従事。					
授業概要						
9号館ホールを使用した各種実習およびホールを使用した実践的な実習を行う。 学生が主体で実施するイベントができるようになるための実践を行う。						
到達目標						
音響スタッフとしての役割を理解し、チームとしての行動ができること。使用する機材の基本的なオペレーション能力を身に付ける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	STAGE INPUTを仕込む チューニング:アナログ卓でのレベル感、モニターAMPのレベル感					
【前期】 9～18回目	MONIチューニング FOHチューニング					
【前期】 19～23回目	INSERT:COMP/GATEのつなぎ方等 STAGEマンとしての動き方 企画ライブ本番					
【前期】 24～36回目	楽器:BASSAMP/GTRAMPの繋ぎ サウンドチェック イベントに向けてシュミレーション、本番					
【後期】 37～46回目	音源ミックスTFI BANDミックス:SPチューニングからのサウンドチェック					
【後期】 47～56回目	BANDミックス:ステージ転換 イベント本番					
【後期】 57～66回目	BANDミックス:GATE/COMPの使い方 STAGE転換					
【後期】 67～74回目	イベント本番 BANDミックス					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA実習Ⅱ－Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	PA実習Ⅱ－Ⅰ		年次	2年次
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	89回(178単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	PA会社を経て数多くのアーティストのPAサポートを行い、デジタル伝送システムの構築を発信している。コンサート以外では、テーマパーク、エキシビションのサウンドデザインを担当している。				
授業概要					
12号ホールを使用した各種実習およびホールを使用した実践的な実習を行う。 フルデジタル伝送の知識を深める。					
到達目標					
PAエンジニアに必要なトータルの技術、機材、デジタルネットワークに対する知識と技術を習得フラッグシップモデルDiGiCo SD7のマスター(12号ホール)					
授業計画・内容					
【前期】 1～8回目	12号B2システム説明/Session1 TB SD7の基本(Session1 音が出せる TB GEQをINSERT／Session1 TB SEND Levelコントロール USB／Session2 TB Send/機器のレベル合わせ/Bank)				
【前期】 9～14回目	チューニング(MainとSTAGEの環境作り/USB MADI) Dr3点/Bass/Gtサウンドチェック(Micアレンジ/RECLして聞き比べ) 音源再生MIX(マルチ再生の仕方)				
【前期】 15～29回目	Q225をMoni 卓へ(REAMPの使用) 音源再生MIX(REAMPの使用／RECLして聞き比べ) 簡単なSmarrt測定/Delay合わせ等(機材のPhase/Delay)				
【前期】 30～40回目	アンサンブルライブ@本館／Smarrt測定応用(アライメント) 前期試験				
【後期】 41～52回目	様々な現場の音源出し(イベント／結婚式) チューニング				
【後期】 53～65回目	企画Liveシミュレーション・準備 SX300フライング				
【後期】 67～78回目	アンサンブルライブ@本館 様々な現場の音源出し(カラオケ/Band)				
【後期】 79～89回目	総括 後期試験				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA実習Ⅱ - Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	PA実習Ⅱ - Ⅱ		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	89回(178単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	PA会社からキャリアをスタートさせた後、フリーランスのPAエンジニアとして活動。ライブハウス、コンサート、フェスなど、様々な規模の現場を経験し現在に至る。					
授業概要						
音響担当スタッフとしてハウス、モニター、ステージ等のチームに分かれ、機材の基礎セッティングから回線チェック、チューニング、サウンドチェック、リハーサル、本番を想定したコンサート現場の一日をシミュレーションする。						
到達目標						
音響スタッフとしての役割を理解し、チームとしての行動ができること。使用する機材の基本的なオペレーション能力、音楽制作者としてのクリエイティブな感性を身に付ける。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	本館機材について:コンソール、PowerAmpの電源の入れ方等 機材について PM5の基本的な使い方、配線図等,PM5の基本的な使い方、MATRIX等 PM5について:実際にINPUTして音を出す／INPUT/OUTPUTのPatch等					
【前期】 9～14回目	PM5についてINSERT/EFFECT.PM5を使用しての回線チェック等 野方企画に向けて728 BTLモードについて 転換練習等 試験対策					
【前期】 15～29回目	野方企LIVE後野方機材戻し後反省会 分岐についてPM5、M7を分岐モニモニセットアップ本館、マイキング・HAレベルの取り方等、分岐してのFOH,MONIチューニング					
【前期】 30～40回目	分岐について回線チェック等、Drのsoundcheck、Bass.Gtrのsoundcheck スタフェスに向けて転換練習・soundcheck等、転換練習等					
【後期】 41～52回目	スタフェス後機材戻し、スタフェスREC資料を使ってMIX 音源MIXPCを使ってのMIX練習、PCを使ってのMIX練習					
【後期】 53～65回目	企画ライブに向けて？/東大和機材戻し 舞台音響/Qlab等の再生/試験対策					
【後期】 67～89回目	音源の再生DANTE、Qlab、BAND/カラオケ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	半田製作実習		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	半田製作実習		年次	2年次
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	72回(144単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置コース	PAコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	PA会社にて機材管理・メンテナンス・オペレーターを経て現在は音楽コンサート以外にもスポーツイベントなど様々な現場にて活躍中				
授業概要					
半田付けの技術およびケーブル・コネクタの構造について学ぶ。					
到達目標					
トラブル時の修理などの対応する技術の習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～8回目	クラフト フーンコネクタ説明、TS、TS⇄オス&メス、TRS フーン(TS)半田付け、TS、TS⇄オス&メス、TRS				
【前期】 9～18回目	TS⇄オス&メス×2 TS⇄オス&メス、TRS(細)、TRS(4E6S) TRS(細)×1、TRS(4E6S)×3				
【前期】 19～23回目	TRS(4E6S)×3、TS×1、XLR×1 マルチコネクタ説明、XLR×1、TS×1、TRS×1				
【前期】 24～36回目	カラーコード説明、XLR×1、TS×1、TRS×2 スピコン説明				
【後期】 37～46回目	スピコン×3、XLR×3 スピコン×3、XLR×1、TS×1、TRS×1				
【後期】 47～56回目	クラフト ケーブル作成				
【後期】 57～66回目	RCAコネクタ説明 ステレオケーブル作成				
【後期】 67～72回目	クラフト ケーブル作成				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					